

診療に適した水を提供し続けるために

世界に目を向けると、国土全体で水道水を安全に飲める国はごくわずか。世界各国・地域で販売しているデンツプライシロナのトリートメントセンターは、安全な医療を提供するために、水質条件として、いずれの状況においても一般細菌数500CFU/mlを超えてはならないという条件を設けています。また、歯科用ユニットからの排水に関する国内法規に準拠するために、弊社ではトリートメントセンターに清浄水供給装置を装備することを推奨しています。幸いなことに、日本国内で供給される水道水は一般細菌数100 (CFU/ml)以下と定められているので、日常的に安全な水道水が飲めますが、実はその日常にもさまざまなリスクが潜んでいます。

それはどのような時でしょうか？

- 豪雨・台風・地震などの自然災害による断水や濁り水
- 水道管の老朽化による赤水
- 水道工事時の一時的な断水、工事後の濁り水
- 水道管凍結による水道管凍結や破裂による断水、水量や圧力不足
- 停電時のポンプ停止(ビル・マンション)による断水

昨今、頻発する自然災害だけでなく、各医院をとりまく環境に因るものばかりです。

デンツプライシロナのトリートメントセンターには、そのような状況でも歯科医療を提供し続けるための機能が備わっています。

…それが「アクア機能」です。

アクア機能とは

公共上水道の水質が診療レベルに適していない場合に、自給給水を行う機能です。
詳細については取扱説明書の【ウォーターユニット>自給の給水】についての項をご確認ください。

<お使いの前に>

- 清浄水供給システムが内蔵されているユニットのみ動作します。
Teneo:基本仕様として内蔵
Sinusファミリー:基本仕様として内蔵
Integoファミリー:オプション
- 自給用の水は精製水、または蒸留水をご使用ください。
- 自給用の水にデントセプトS(二酸化水素水)を100:1の割合で混ぜてからご使用ください。
- アクア機能は一時的に使用するもので、上水道が通常に使用できるようになった際には設定を戻してください。

<アクア機能をはじめするには>



- スタート画面にてAquaボタンを2秒以上長押しします。
※スタート画面に表示されていない場合には、サブ画面を表示させてください。
Aquaボタンがグレーの場合:上水道からの給水
Aquaボタンがオレンジの場合:自給での給水
- タンク内に水が残っている場合には自動排出されます。
- 給水のイラストが表示されたらデントセプトSを100:1の割合で混ぜた精製水または蒸留水を入れてください。
- タンクの容量は約1.3ℓです。
水面がロート管のフィルターの位置に到達すると流量の目安となります。
これで準備が完了です。
再び上水道の給水に変更する場合には同じようにAquaボタンを2秒以上長押しし、Aquaボタンがグレーに変わるのを確認してください。



自給給水を行っている間はサニテーションボタンが非表示となり、手動での衛生管理が必要となります。
詳しくは取扱説明書の【診療チームによる手入れ、清掃、メンテナンス>トリートメントセンターの手動衛生管理】をご確認ください。
上水道の給水に戻す場合は、給水の細菌数検査およびユニット内のサニテーションを実施してください。

デンツプライシロナ株式会社

本社/〒106-0041 東京都港区麻布台1-8-10 麻布借成ビル

支店・営業所

- | | | | |
|---------|------------------|---------|------------------|
| ■ 札幌支店 | Tel.011-709-5800 | ■ 広島支店 | Tel.082-546-2301 |
| ■ 仙台支店 | Tel.022-266-4020 | ■ 福岡支店 | Tel.092-518-1800 |
| ■ 東京支店 | Tel.03-5148-7895 | ■ 盛岡営業所 | Tel.019-604-2340 |
| ■ 横浜支店 | Tel.045-440-1521 | ■ 庄内営業所 | Tel.0235-29-1217 |
| ■ 名古屋支店 | Tel.052-251-8467 | ■ 埼玉営業所 | Tel.048-799-2931 |
| ■ 大阪支店 | Tel.06-6243-6636 | ■ 静岡営業所 | Tel.054-653-2711 |

BD 6306PD

TREATMENT CENTERS REPORT.

2018. December

広島県呉市 あおぞら歯科医院

院長 森岡 昌子先生



「コミュニティ」と「設備」が災害時にもたらしたものは

【広島県呉市】あおぞら歯科医院 | 院長 森岡 昌子 先生

2018年7月に西日本を襲った豪雨災害はまだ記憶に新しい。なかでも広島県呉市広地区は、インフラの根幹である上水道の断水、という影響を受けた。あおぞら歯科医院は、そのような状況下においても診療を続け、地域の患者さんの口腔ケアに進進していたという。そこには近隣が一体となった相互の協力と、デンツプライシロナのユニットの「ある機能」がその一役を担っていた。院長である森岡昌子先生に、歯科医療への思い、地域社会とのつながり、そして当時の対応について伺った。

地域の方々の「コミュニティスペース」のような歯科医院。その歯科医院づくりとは。

気軽に医療が受けられる、ちょっと寄れる、安心できる空間、それが私の描く医院像です。これらを実現するために診療室はあえてオープンにし、ゆったりと圧迫感のないレイアウトを採用しました。ドクターが一人なので、全ての患者さんを診て院内の状況を把握することができます。そして、スタッフも含め必ず誰かの目が行き届いているので、安心して治療を受けることができます。患者さんの多くは周辺地域の方々と互いに知り合っていることが多く、診療中も患者さん同士でお話しているようなアットホームな雰囲気に満ちています。待合室も同様に、患者さんが色々なものを持参し飾ってくれて、この医院の雰囲気を作り上げてくれています。小さなお子さんは「ハイテクで大きな器械」に興味津々で、その好奇心を尊重してあげたいので、ユニットのシートを倒すボタンを押させてみたりしています。歯医者が



怖いというイメージを作らない、嫌な事をされる場所ではなく楽しい場所、ハイテクなものがあるワクワクする場所、というイメージを持ってもらえるように接しています。ユニットのシートカラーもカラフルでアットホームな空間づくりに役立っています。

西日本豪雨災害時、断水の被害を受けながらも診療を続けられたそうですね。

この地区は直接的な被害は無かったのですが、断水が続きました。呉市内の他の地区では断水から復旧してもまだ泥水のような状況で、とても診療に使用できる水質ではなかったので、大半の医療機関は休診していました。患者さんの痛みは災害時だからといって待ってくれるものではないですよね。緊急時に受けられる医療機関がないというのは、医療人としてはとても悔しい思いになります。幸い、当院は停電は免れていたのですが、訪問診療グッズとユニットのパキュームを使用して、なんとか診療を続けようと考えました。そのため、水回路をストップさせる方法があるかデンツプライシロナの広島支店の方に尋ねたところ、「アクア機能」の存在を教えてもらいました。

この機能を使用することで、訪問診療グッズを使用しなくても診療が続けられる、と嬉しかったです。予約が入っていた患者さんや近所の方々、幼稚園に連絡し「緊急対応になってしまふけど、診療は続けているよ」とお伝えすると、本当に色々な方が貴重なお水を持ってきてくれたんですね。中には、「先生一人でこんな大変な時に診療しては、ご飯もろくに食べれんじや」と、食べ物を持ってきてくれる患者さんも。結局、診療では使用しきれないほどの水が集まったので、逆に、来られた患者さんに分けていました。困難な時だからこそ地域の方々で助け合い、自院がそのコミュニティの一つになれたかな、と思っています。



広島県呉市 あおぞら歯科医院
院長 森岡 昌子 先生

〈プロフィール〉
2008年 日本歯科大学生命歯学部 卒業
2008年 東京歯科大学市川総合病院 歯科・口腔外科
2010年 医療法人正実会 新横浜歯科医院 勤務
2013年 森岡歯科医院 副院長
2014年 あおぞら歯科医院 院長



「アクア機能」を使用して不便なことはありませんでしたか？

水の供給を水道水から自給に切り替える際の手順に手間取り、一度ユニット内のタンクに貯めた水が全部排水されてしまったことですね。でも、切り替えは最初に一度行えば、あとは自給設定のまま保存されるので、その後は順調でした。うがいに使用する水は別でコップ

に注ぎ、ハンドピースやシリンジに使用する程度の水量しか使用しないので、一度タンクに水を入れてしまえば一日に何度も給水する必要はありませんでした。普段とあまり変わらない診療ができたおかげで、患者さんも私たち従事者にとっても大きな安心になりました。

今回の災害を振り返って感じたことは？

近年日本では天災が続き、いつ自分に降りかかってくるかわかりません。今回、多少なりとも困難に直面して感じたことは、いつでも心の準備だけは万全にしておかないと、「いざという時に動けない」ということです。普段と同じ生活が送れないストレスに加え、体力も奪われてしまうので、「いざという時の頑張りのパワー」を普段から貯めておく。医療人として大切なことだと思います。幸い今回は、断水のみで通電はしており自分

の身体的ダメージはない。さらにデンツプライシロナのユニットに「アクア機能」が備わっていた。これだけの好条件が揃っていて、「災害時だから」という理由で診療をストップすることはできませんでした。私の歯科医療のモットーでもある「地域の方々の健康を支える」ということが体現できた貴重な経験だったと思っています。

「アクア機能」とは

デンツプライシロナは全世界40ヶ国で事業を展開しており、その中には上水道設備が十分ではない国も含まれます。そのため、ユニットの水供給を自給するための「アクア機能」が備わっています。

